



	11月				12月			
	最高気温	最低気温	平均気温	雨量(mm)	最高気温	最低気温	平均気温	雨量(mm)
本年	24.7	18.1	21.0	164.5	19.8	13.6	16.2	43.5
平年	23.1	17.6	20.3	147.8	20.2	14.2	17.3	100.8
平年との差	+1.6	+0.5	+0.7	+16.7	-0.4	-0.6	-1.1	-57.3

### 年頭のご挨拶

生和糖業株式会社  
代表取締役社長 金子 勇人



新年あけましておめでとうございます。

喜界島における製糖は昨年12月15日より開始しております。農家の皆様には、年末及び新年早々からのさとうきび刈取り集荷作業となりますが、お体をご自愛のうえ計画的な工場搬入となります様に、宜しくお願い申し上げます。今製糖期の圧搾計画は81,600tとありますが、昨年10月末の台風21・22号の影響でさとうきびの成長にダメージとなり、倒伏により刈取り作業も大変な状況となりご苦労の事とお察し致します。一方、12月工場搬入分の甘蔗糖度が11度程度となっており例年になく低い値で始まっていますので天候回復により糖度上昇が切に望まれます。

弊社では、喜界島の基幹作物であるさとうきびを原料に持続的に製糖業を営むことで喜界町に永年に亘り貢献していく事を企業理念としております。常に将来を見据えて安全・安定操業をすべく昭和34年の創業当時からの製造建屋はここ数年で老朽更新・耐震対策の設備投資や修繕を積極的に行い、昨年は事務棟についても建て替えを実施致しました。更に喜界島粗糖(島ザラメ)についても、これまでの風味を残した中で品質管理に努め安定製造ができる様に努力を致しております。

今年も、さとうきびの単収UPという視点で、土づくりの必要性や適期圃場管理作業機械化への対応、脱葉装置の処理能力増強の必要性など、島内関係各所との検討を重ねて積極的な取り組みを致したく考えています。

年明け以降の製糖期におけるさとうきびの品質が向上し農家の皆様及び関係者、そして弊社にとっても良い収穫となります様に連携してまいりますので、本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

### さとうきび生産振興大会(12/4)

川島町長挨拶

今期は50年に一度といわれる水害が2回、10月には台風が2個襲来したものの、生産量は平年作をやや上回る8万トン余りが見込まれる。関係機関連携して、製糖終了を迎えたい。最後に自然災害時に、頼りになるのが農業共済であり、同加入推進を薦め挨拶を締めくくった。

菅 工場長  
操業計画発表。

#### 平成29/30年 期 さとうきび生産見込み量

項目	製糖期間			29/30年	28/29年	増減量	増減比	
	開始 年.月.日	終了予定 年.月.日	日数 日	原料処理量 +	原料処理量 +	原料 +	原料 %	
会社名								
新光糖業(株)	H29.12.15	H30.04.12	119	123.676	158.209	△34.533	△21.83	
富国製糖(株)	H30.01.10	H30.04.13	94	25.193	26.386	△1.193	△4.52	
生和糖業(株)	H29.12.15	H30.04.04	111	81.600	95.834	△14.234	△14.85	
南西糖業(株)	伊仙	H29.12.20	H30.04.11	113	98.990	114.794	△15.804	△13.77
	徳和瀬	H29.12.20	H30.04.11	113	88.569	105.905	△17.336	△16.37
	計			187.559	220.699	△33.140	△15.02	
南栄糖業(株)	H29.12.10	H30.04.01	113	82.911	96.500	△13.589	△14.08	
与論島製糖(株)	H29.12.15	H30.03.17	93	25.000	32.559	△7.559	△23.22	
大島部計				402.263	471.978	△69.715	△14.77	
合計				525.939	630.187	△104.248	△16.54	

※製糖終了予定日は、きびの最終搬入終了後、製品の倉入終了日のことです。

講演 「喜界島の土壌と肥培管理について」

大島支庁 加治木 慎氏

奄美の農耕土壌から見た有機物施用の必要性。  
なぜ、緑肥栽培するのか？

どうして、緑肥栽培をするのか？

1. 地力窒素の増加
2. 腐食の増加
3. 雑草の抑制
4. 病害虫の予防
5. 赤土流出防止

○手軽に堆肥の代り(コスト、散布機、労力)

○さとうきび株出しで土作りが出来る。  
⇒株出し 単収アップ。

#### 緑肥の種類

夏植前の栽培体系

梅雨前までに播種、2~3ヶ月後(開花後期)にすき込み(ストローチョッパー⇒ロータリー)

#### ・クロタリア

根粒菌によって空中窒素を固定。  
センチュウ抑制効果が期待できる。



ネマキング



ネマコロリ

#### ・ヘアリーベッチ

根粒菌によって空中窒素を固定。  
また、アレロパシー窒素による雑草抑制が出来る。



ヘアリーベッチ



ヘアリーベッチ

#### ・クリムソンクローバー

根粒菌によって空中窒素を固定。  
また、保水力向上が期待できる。  
品種：くれない



くれない

強酸性では、さとうきびの生育は悪い

我が家の畑の土壌を調べましょう

強酸性土壌は、苦土石灰等で酸度矯正！！



### ・セスバニア

根粒菌によって空中窒素を固定。  
直立型の為、排水改善に効果的  
品種：田助

株出し栽培の地力向上対策として**緑肥間作を実証試験実**

## ポイント

株出し面積が増加(奄美大島:72%、喜界島69%)

株出しはコストが低く、さとうきび経営上重要

新植前には堆肥等で土づくりが出来るが株出しでは？

株出しでは緑肥間作により

- ①土づくり
- ②雑草抑制
- ③保水性・透水性改善



### まとめ ①

- 喜界島に広く分布する粘板岩土壌は・・・
  - ① 地力が低い
  - ② 腐植含量が少ない
  - ③ 水持ちが悪い
  - ④ 作業性が悪い
 などの特徴があり改善が必要！

- 特にさとうきびの夏場のかん水は重要
- 土壌pHが低い圃場は早急に酸度矯正  
堆肥、緑肥の施用により安定生産につながる  
(**単年度の増収**により、中長期的な地力維持が重要？)



### まとめ ②

- 緑肥は、夏植え新植前の栽培(4~7月頃)に加えて
  - ① 夏植え間作 (11~3月)
  - ② 株出し間作 (2~7月)の作付の栽培体系が開上げられる。
- その適品種は・・・  
**ヘアリーベッチ(藤えもん、寒水郎)が有望！**

【※現在実証中】



### お知らせ—芽苗の申し込について

生産者	5円
補助(生和)	5円
〃(町)	5円
計	15円

申込み詳細は、後日ご案内致します。  
**喜界町さとうきび生産対策協議会**

編集後記

昨年は"50年に一度の水害"に、ひと月足らずの間に2度見舞われた。また台風も10月下旬に21号、22号が相次いで接近、通過した。特に22号台風は通過後の降雨が殆ど無く町全体が塩害により葉は茶色に変色し、登熟期を迎えるさとうきびは大打撃を受けた。更に日照も11月~1月は平年比80%と少なく、葉の回復も遅れ糖度は年内、年明け後も11度前半で低迷し、品質取引開始以来最低の年です。自然災害の猛威を改めて痛感した年であります。嘆いても、生産量や糖度は回復するものではなく、心機一転してさとうきび作りに励んで頂きたいものです。